

---

~ leaf ~ **リーフ**

リ्यूーフ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Leafリーフ

### 【Nコード】

N3335N

### 【作者名】

リーフ

### 【あらすじ】

リーフ隊の人物たちが繰り広げる物語。  
コメディあり、恋愛あり、戦いあり！！  
任務ごとに色々あり。

ホワイトは、ただの少女だった。  
だが、ある時にそれを変える運命が――

## 始まり 説明（前書き）

中学生が作った駄文ですので言葉足らずなところがあります。

『こんなもの読んでいられるかっ！』

という気持ちが芽生えた場合は、逃げてください。

お願いしますっ！

お心がお広い方は、暖かい目で見守ってください！

分からない事があつたらどうぞお気軽に聞いてくださいますっ。

## 始まり 説明

Leaf リーフ とは。

日本の山奥に、ある基地があつた。

その基地の名は『リーフ隊』というもの。

其処には、親を亡くした子供たちが集っていた。一（親が生きているものもいる）

リーフ隊に居るのは大体1 19歳の子供たち。

リーフ隊本部があるが、其処に居るのはリーフ隊幹部を卒業したものだけであり、20 . . . の人物がいる。

?リーフ隊の仕事

本部から送られてきた任務を遂行する事。

自分たちで選ぶものもある。

?リーフ隊・階級

リーフ隊は各地方にあるのである!!

リーフ隊?一（幹部）

が、リーフ隊?、?、?、?、?、?、?、?、?、?、?が困った時に指示を出す。

リーフ隊本部の次に偉い。

## 始まり 説明（後書き）

読んでくださいますありがとうございます！

これからもよろしくお願ひします）・ ・ ・（キリッ

**登場人物（前書き）**

行くぜっ！

## 登場人物

?登場人物? 主要人物

・リーフ隊幹部隊長

名前 ホワイト・シャドウ

性別 女

歳 14

人物一言説明

クールで格好いい&可愛い女の子

・リーフ隊幹部副隊長

名前 ブラック・シャドウ      ホワイトとは血縁関係ではない

性別 男

歳 14

人物一言説明

やる時にはやる! そんな男の子

・リーフ隊幹部観察部配属

名前 アルキア・レイン

性別 男

歳 13

人物一言説明

皆の可愛い弟的存在。年齢よりも幼く見える?

・リーフ隊幹部調査課配属

名前 ルル・ナルク

歳 16

性別 女

人物一言説明

皆の頼れるお姉さん！的存在。

？海洋隊？

海洋<sup>オシャン</sup>と言つのはあまり深い意味はない。基地が海の近くにあるわけではない。

ただ、なんか自由で海のように束縛を嫌うような人が集まるからその名がついたという。

？海洋隊の人物

・海洋隊隊長

名前 水竜

性別 男

歳 14

人物説明

ホワイトを見てから一目惚れ。先祖代々竜の一族であり、水の竜の使い手でもある。

竜の玉<sup>キョク</sup>を集めている。

母親が緑竜の使い手。父が水の龍の使い手。なので、緑竜の玉と水竜の玉を持っている。

・副隊長

名前 れう

性別 男

歳 15

人物説明

理科の実験大好き人間。でも低脳。隊長の馬鹿な行動に呆れている。

・隊員

名前 レク

歳 16

性別 女

人物説明

れうの姉。れうとは違って理科が大っ嫌い。

名前 ミンリ

性別 女

歳 14

人物説明

観葉植物を育てるのが大好きなおっとりさん。

? 龍の一族2?

名前 レイリュウ

ウ

歳 15

性別 男

人物

水竜と同じように玉は

弟。

集めずに、ナリュウと龍だけを集めている。  
める作業をしてる。

ナリュウの兄。

龍の中の王、黒龍よりも上の『白龍』  
の雰囲気、ホワイトが似ている  
ので、ホワイトの事を『姫』と呼ぶ。

名前 ナリュ

歳 13

性別 男

人物

レイリュウの

一緒に龍を集

## 登場人物（後書き）

疲れた……。

分からないところがあったら言ってください！！

任務（前書き）

いっくぜー！

## 任務

「……、おい」

開口一番。ホワイトはある人物に問いかけた。

ここはリーフ隊幹部のなか。

それはまるでどこかの高級ホテルのような内装。だが基地なのである（ここ重要）

そして本題。なぜ彼女が問いをかけたのか。

それは、基地内がいつもと違うから。

「よお、ホワイト。おはよう………」  
「ばきゅっ！」

鈍い音とともに、倒れこむ少年。

彼はリーフ隊幹部副隊長のブラック。

そして、鈍い音の正体は、ホワイトが、ブラックの顔面にグー……。握りこぶしをめり込ませたからであった。

「いつて………」

鼻から赤い液体が垂れるブラック。

「何をやってるんだ？」

「基地の改造」

「は？」

基地の様子。

- ・ 何故かところどころに隠れ家。
- ・ 迷彩色
- ・ 植物大量発生中
- ・ 修行場が砂地に変えられている。
- ・ . . . e t c

など、もともと違うものがたくさん。

そして、中央ロビー床は大理石のうえのレッドカーペットが迷彩色のカーペットらしきものに。

そんなとき、中央ロビー階段から下りてきたのは、リーフ隊幹部調査課配属ルル。

「ほ、ほわ、ホワイトお！ な、何か朝起きたら廊下が！ 廊下があ！ー！ー！」

焦りながらホワイトに抱きつく。

「おい、ブラック。一体なんでこんな改造を？」

「実はな。こういうのが憧れで、男子の意見を取り入れたんだけど」

ばしっ！

乾いた音が中央ロビーに響く。

ブラックの鼻に詰まっていたティッシュが取れた。

今度はルルの攻撃だった。平手打ち！！

「ぐふっ!!」

なんともスローテンポで落ちてくブラック。  
振りおろしかたが何とも言えない遅さのルル。  
その二人の後ろであきれるのはホワイト。

まったくもっておかしな状況。  
そこに新たなる者が。

「何やってるんですか？ 皆さん」

リーフ隊幹部観察部配属アルキア。

「あ、アルキア」

「ルルさん、反応冷たい……」

「あ、アルキア、た、たすけ……」

「副隊長?!?!」

この状況が呑みこめていないアルキアは戸惑いを隠せなかった。

こんな始まりで大丈夫なのか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3335n/>

---

~ leaf ~ リーフ

2010年10月20日13時55分発行